

2022年4月28日

2022年3月期通期 決算説明会

代表取締役社長
谷本 秀夫

1. 2022年3月期 決算概要

(注) 2022年3月期より事業セグメント区分を変更しています。また、2022年3月期第4四半期より、各事業セグメントで生じた一部の副産物売上高については、金額的重要性が増したため、計上先を「その他の事業」から各事業セグメントに変更し、2022年3月期より適用しています。これらの変更により、2021年3月期の経営成績についても同様の区分に組み替えて表示しています。

2022年3月期 決算概要 (1)

(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	増減金額	増減率
売上高	1,526,897	1,838,938	312,041	20.4%
営業利益	70,644 (4.6%)	148,910 (8.1%)	78,266	110.8%
税引前利益	117,559 (7.7%)	198,947 (10.8%)	81,388	69.2%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	90,214 (5.9%)	148,414 (8.1%)	58,200	64.5%
基本的EPS(円)	248.91	411.15		
平均為替 レート	ドル 106円 ユーロ 124円	112円 131円		

【ご参考】：2022年3月期
為替変動による影響額 (前期比)
売上高：約+680億円
税引前利益：約+200億円

注：() 内の数字は売上高比率

2022年3月期 決算概要 (2)

(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	増減金額	増減率
設備投資額	117,106 (7.7%)	151,771 (8.3%)	34,665	29.6%
有形固定資産 減価償却費	73,811 (4.8%)	90,229 (4.9%)	16,418	22.2%
研究開発費	75,457 (4.9%)	84,123 (4.6%)	8,666	11.5%

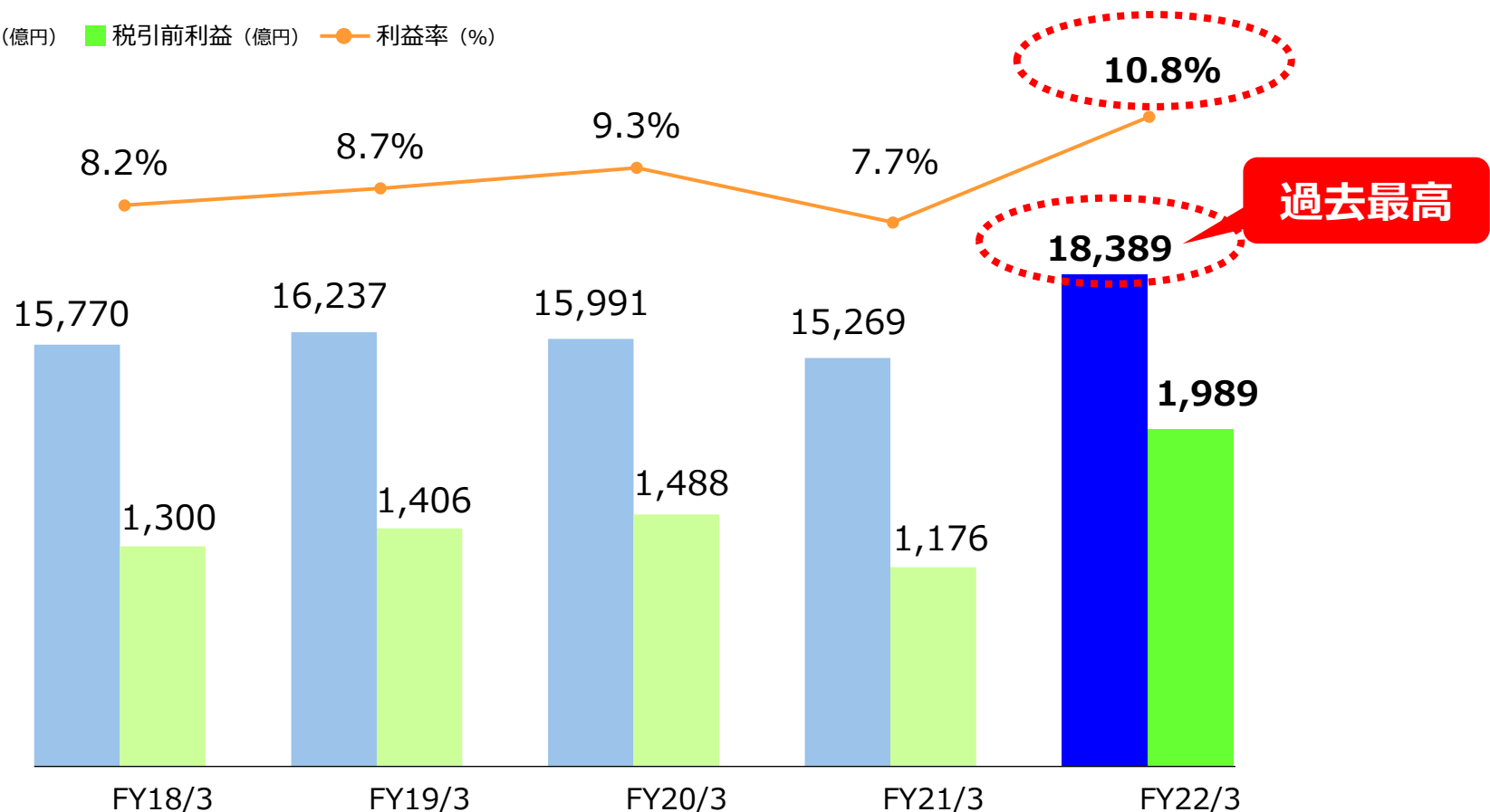
注：（ ）内の数字は売上高比率

2022年3月期 サマリー

▶ **売上高**は、主に5Gや半導体関連市場向け部品の増産が寄与し**過去最高**を更新

▶ **税引前利益率**は、増収効果及び生産性改善により、**2桁**に向上

■ 売上高 (億円) ■ 税引前利益 (億円) — 利益率 (%)



2022年3月期 事業セグメント別売上高

(単位：百万円)

事業セグメント別 売上高	2021年3月期		2022年3月期		増減金額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
コアコンポーネント	431,907	28.3%	527,933	28.7%	96,026	22.2%
産業・車載用部品	136,062	8.9%	172,908	9.4%	36,846	27.1%
半導体関連部品	270,656	17.7%	327,746	17.8%	57,090	21.1%
その他	25,189	1.7%	27,279	1.5%	2,090	8.3%
電子部品	273,002	17.9%	339,102	18.4%	66,100	24.2%
ソリューション	835,261	54.7%	983,689	53.5%	148,428	17.8%
機械工具	193,066	12.6%	251,062	13.7%	57,996	30.0%
ドキュメントソリューション	316,226	20.7%	366,691	19.9%	50,465	16.0%
コミュニケーション	232,739	15.2%	262,306	14.3%	29,567	12.7%
その他	93,230	6.2%	103,630	5.6%	10,400	11.2%
その他の事業	10,883	0.7%	17,817	1.0%	6,934	63.7%
調整及び消去	-24,156	-1.6%	-29,603	-1.6%	-5,447	—
売上高	1,526,897	100.0%	1,838,938	100.0%	312,041	20.4%

2022年3月期 事業セグメント別利益

(単位：百万円)

事業セグメント別 利益	2021年3月期		2022年3月期		増減金額	増減率
	金額	売上高比	金額	売上高比		
コアコンポーネント	30,549	7.1%	61,640	11.7%	31,091	101.8%
産業・車載用部品	4,241	3.1%	19,872	11.5%	15,631	368.6%
半導体関連部品	28,260	10.4%	44,239	13.5%	15,979	56.5%
その他	-1,952	—	-2,471	—	-519	—
電子部品	23,000	8.4%	47,896	14.1%	24,896	108.2%
ソリューション	37,506	4.5%	68,730	7.0%	31,224	83.3%
機械工具	15,721	8.1%	27,211	10.8%	11,490	73.1%
ドキュメントソリューション	28,759	9.1%	33,334	9.1%	4,575	15.9%
コミュニケーション	14,597	6.3%	15,288	5.8%	691	4.7%
その他	-21,571	—	-7,103	—	14,468	—
その他の事業	-3,102	—	-14,649	—	-11,547	—
事業利益 計	87,953	5.8%	163,617	8.9%	75,664	86.0%
本社部門損益等	29,606	—	35,330	—	5,724	19.3%
税引前利益	117,559	7.7%	198,947	10.8%	81,388	69.2%

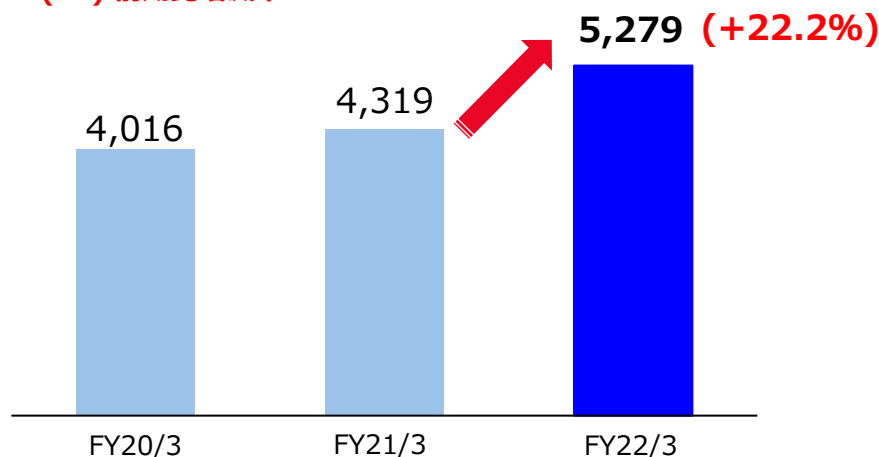
2022年3月期 事業セグメント別業績

(1) コアコンポーネント

売上高

(単位：億円)

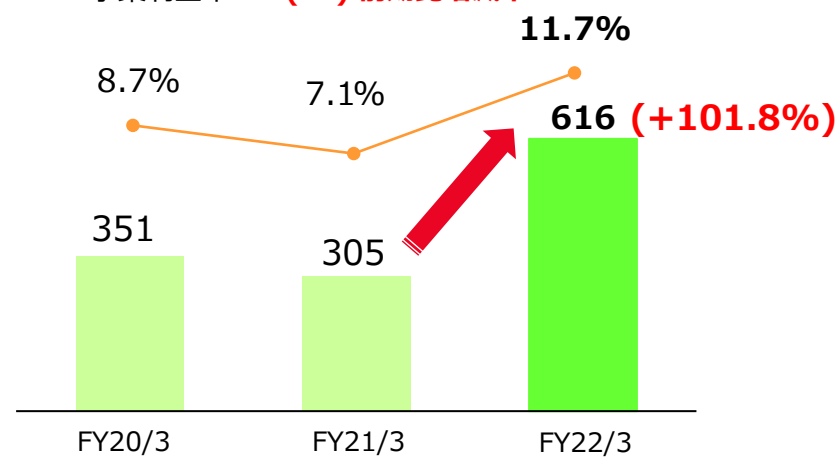
() 前期比増減率



事業利益

(単位：億円)

● 事業利益率 () 前期比増減率



<通期 FY22/3 vs FY21/3>

- 半導体製造装置用ファインセラミック部品の需要増 (産業・車載用部品事業)
- 5G等の情報通信市場や自動車関連市場向けセラミックパッケージ及び有機基板の需要増 (半導体関連部品事業)

<通期 FY22/3 vs FY21/3>

- 積極的な設備投資による高付加価値製品の増収を主因に増益

注：事業利益は各事業セグメントの税引前利益
前期比増減率及び事業利益率は百万円単位で算出

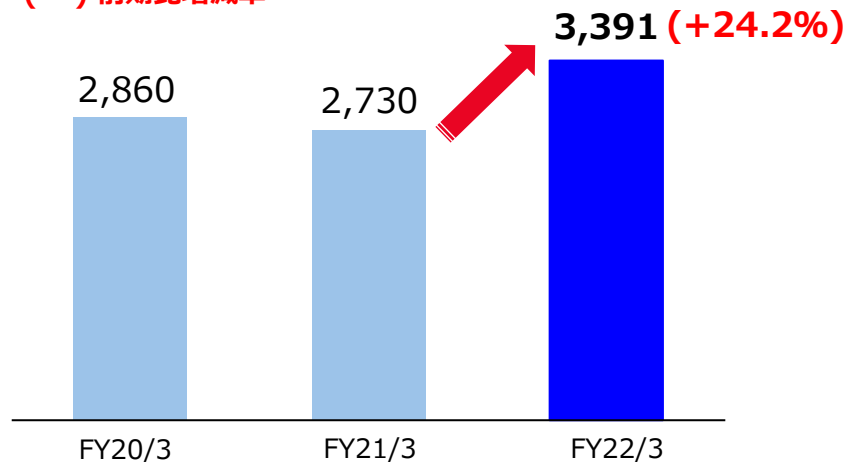
2022年3月期 事業セグメント別業績

(2) 電子部品

売上高

(単位：億円)

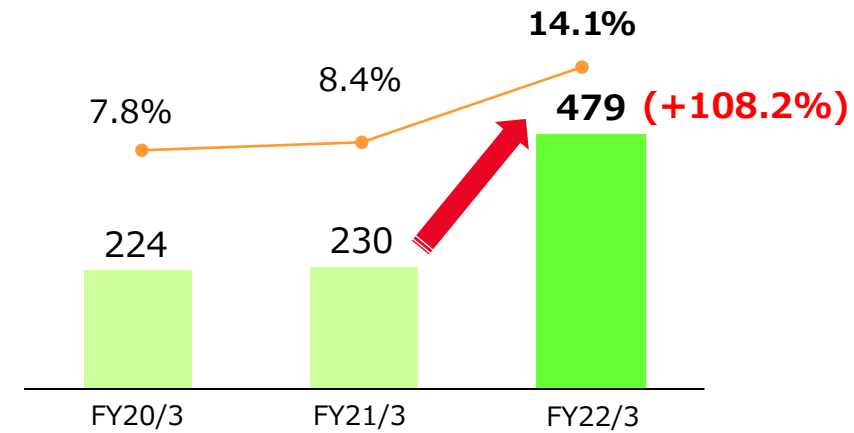
() 前期比増減率



事業利益

(単位：億円)

● 事業利益率 () 前期比増減率



<通期 FY22/3 vs FY21/3>

- 産業機器及び自動車関連市場等の回復に加え、5G及び半導体関連市場での需要増により、小型大容量コンデンサや水晶部品等の売上が増加

<通期 FY22/3 vs FY21/3>

- 高付加価値製品の増収に加え、生産性改善等により、増益

注：事業利益は各事業セグメントの税引前利益
前期比増減率及び事業利益率は百万円単位で算出

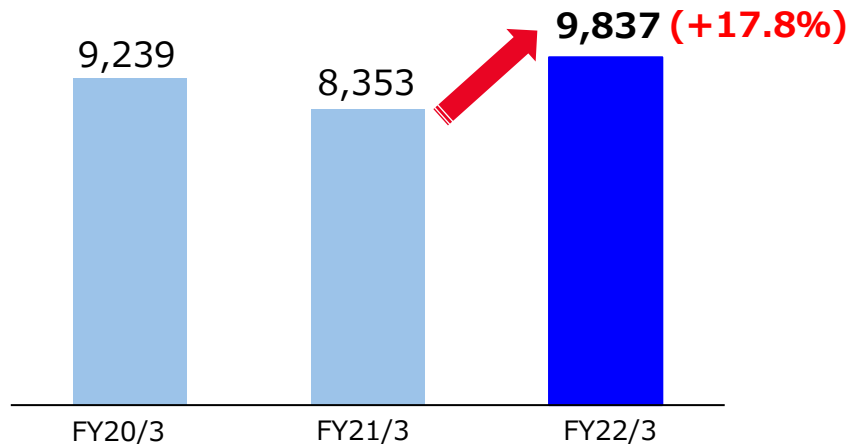
2022年3月期 事業セグメント別業績

(3) ソリューション

売上高

(単位：億円)

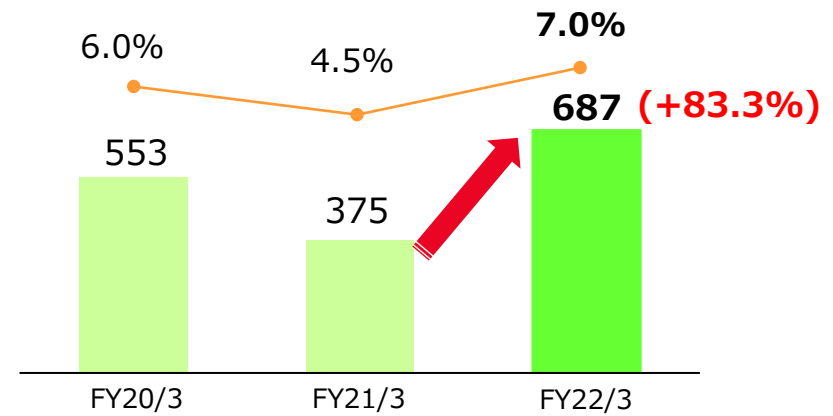
() 前期比増減率



事業利益

(単位：億円)

● 事業利益率 () 前期比増減率



<通期 FY22/3 vs FY21/3>

- 切削工具及び空圧・電動工具の売上増 (機械工具事業)
- 機器及び消耗品の販売回復 (ドキュメントソリューション事業)

<通期 FY22/3 vs FY21/3>

- 増収及び、前期に計上したスマートエナジー事業における減損損失約115億円の影響がなくなったことにより、増益

注：事業利益は各事業セグメントの税引前利益
前期比増減率及び事業利益率は百万円単位で算出

2. 2023年3月期 業績予想

2023年3月期 業績予想 (1)

(単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期予想	増減金額	増減率
売上高	1,838,938	2,000,000	161,062	8.8%
営業利益	148,910 (8.1%)	174,000 (8.7%)	25,090	16.8%
税引前利益	198,947 (10.8%)	220,000 (11.0%)	21,053	10.6%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	148,414 (8.1%)	154,000 (7.7%)	5,586	3.8%
基本的EPS(円)	411.15	426.63		
平均為替 レート	ドル 112円	115円		
	ユーロ 131円	125円		

注1: () 内の数字は売上高比率 注2: 2023年3月期予想の基本的EPSは、2022年3月期の期中平均株式数を用いて算出

2023年3月期 業績予想（2）

（単位：百万円）

	2022年3月期	2023年3月期予想	増減金額	増減率
設備投資額	151,771 (8.3%)	200,000 (10.0%)	48,229	31.8%
有形固定資産 減価償却費	90,229 (4.9%)	120,000 (6.0%)	29,771	33.0%
研究開発費	84,123 (4.6%)	95,000 (4.8%)	10,877	12.9%

注：（ ）内の数字は売上高比率

2023年3月期 事業セグメント別売上高予想

(単位：百万円)

事業セグメント別 売上高	2022年3月期		2023年3月期予想		増減金額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
コアコンポーネント	527,933	28.7%	582,000	29.1%	54,067	10.2%
産業・車載用部品	172,908	9.4%	201,000	10.1%	28,092	16.2%
半導体関連部品	327,746	17.8%	351,000	17.6%	23,254	7.1%
その他	27,279	1.5%	30,000	1.4%	2,721	10.0%
電子部品	339,102	18.4%	370,000	18.5%	30,898	9.1%
ソリューション	983,689	53.5%	1,061,000	53.1%	77,311	7.9%
機械工具	251,062	13.7%	265,000	13.3%	13,938	5.6%
ドキュメントソリューション	366,691	19.9%	400,000	20.0%	33,309	9.1%
コミュニケーション	262,306	14.3%	271,000	13.6%	8,694	3.3%
その他	103,630	5.6%	125,000	6.2%	21,370	20.6%
その他の事業	17,817	1.0%	24,000	1.2%	6,183	34.7%
調整及び消去	-29,603	-1.6%	-37,000	-1.9%	-7,397	—
売上高	1,838,938	100.0%	2,000,000	100.0%	161,062	8.8%

2023年3月期 事業セグメント別利益予想

(単位：百万円)

事業セグメント別 利益	2022年3月期		2023年3月期予想		増減金額	増減率
	金額	売上高比	金額	売上高比		
コアコンポーネント	61,640	11.7%	82,000	14.1%	20,360	33.0%
産業・車載用部品	19,872	11.5%	29,000	14.4%	9,128	45.9%
半導体関連部品	44,239	13.5%	54,000	15.4%	9,761	22.1%
その他	-2,471	—	-1,000	—	1,471	—
電子部品	47,896	14.1%	55,500	15.0%	7,604	15.9%
ソリューション	68,730	7.0%	87,000	8.2%	18,270	26.6%
機械工具	27,211	10.8%	31,000	11.7%	3,789	13.9%
ドキュメントソリューション	33,334	9.1%	42,000	10.5%	8,666	26.0%
コミュニケーション	15,288	5.8%	11,000	4.1%	-4,288	-28.0%
その他	-7,103	—	3,000	2.4%	10,103	—
その他の事業	-14,649	—	-24,500	—	-9,851	—
事業利益 計	163,617	8.9%	200,000	10.0%	36,383	22.2%
本社部門損益等	35,330	—	20,000	—	-15,330	-43.4%
税引前利益	198,947	10.8%	220,000	11.0%	21,053	10.6%

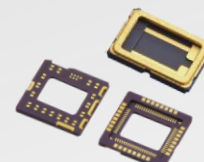
2023年3月期業績予想達成に向けた主な取り組み

1 5G及び半導体関連市場向け部品の生産能力拡大

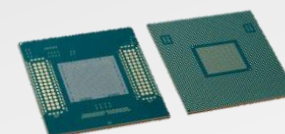
コアコンポーネント



半導体製造装置用
ファインセラミック部品

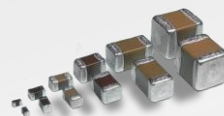


セラミックパッケージ



有機パッケージ

電子部品



セラミックコンデンサ



ポリマータンタルコンデンサ



水晶部品

2 ソリューションセグメントの売上拡大

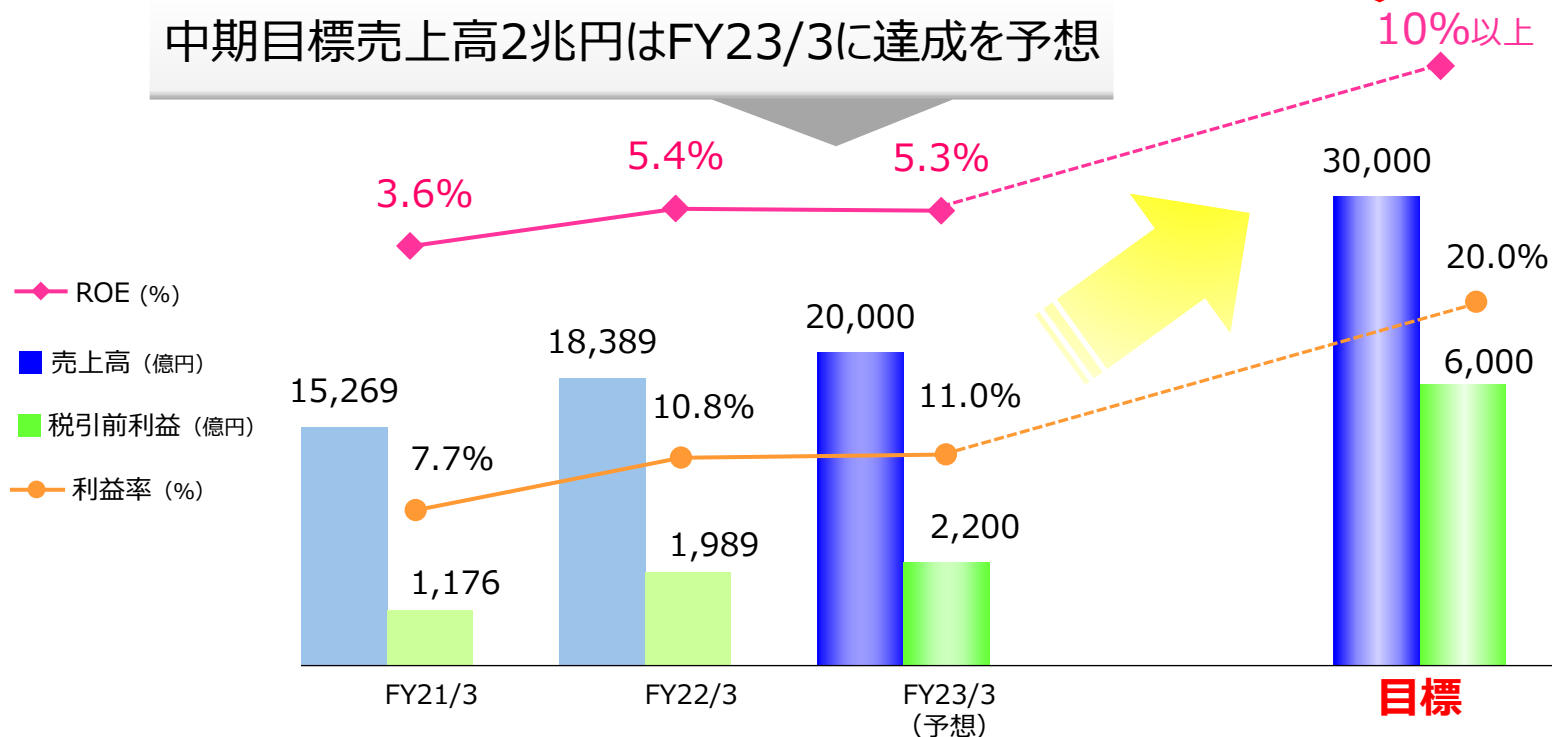
- 機械工具、オフィス向けプリンター及びMFP等の拡販
- 産業用インクジェットプリンターの販売開始

中長期の業績目標

売上高 3兆円 に向けて

- 高需要部品の増産に向けた設備投資の継続
- 新規事業の開発促進

中期目標売上高2兆円はFY23/3に達成を予想



中長期的な成長に向けた主な取り組み

(1) 高需要部品に対する増産投資の継続

▶ **飛躍的な成長に向け、積極的な増産投資による事業機会の獲得**

FY23/3

FY24/3

2022年4月20日公表

KAVX※タイ 新工場



2022年7月 稼働予定

生產品目：

- ・タンタルコンデンサ
- ・MLCC

鹿児島国分工場 新棟



2022年10月以降 稼働予定

生產品目：

- ・半導体製造装置用
ファインセラミック部品

ベトナム工場 新棟



2023年4月以降 稼働予定

生產品目：

- ・セラミックパッケージ

鹿児島川内工場 新棟



2023年10月以降 稼働予定

生產品目：

- ・有機パッケージ
- ・セラミックパッケージ

※ KYOCERA AVX Components Corporation

中長期的な成長に向けた主な取り組み

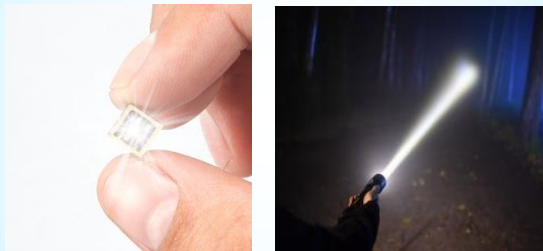
(2) 新規事業の開発促進



**中長期的な成長ドライバーとして、
新規事業関連で年間売上高2,500億円を目指す**

GaN応用デバイス

GaN基板を用いた高効率レーザー技術
⇒ **低炭素社会の実現に貢献**



レーザーダイオード モジュール レーザーフラッシュライト

FY23にアプリケーションの拡大
及び新製品投入を図る

ロボティクス

独自のAI技術によるティーチングの最小化
⇒ **生産現場の効率化を実現**



AI協働ロボットシステム

FY23下期より外販開始

デジタル捺染機

捺染工程の排水・電力消費量を削減
⇒ **環境負荷低減に貢献**



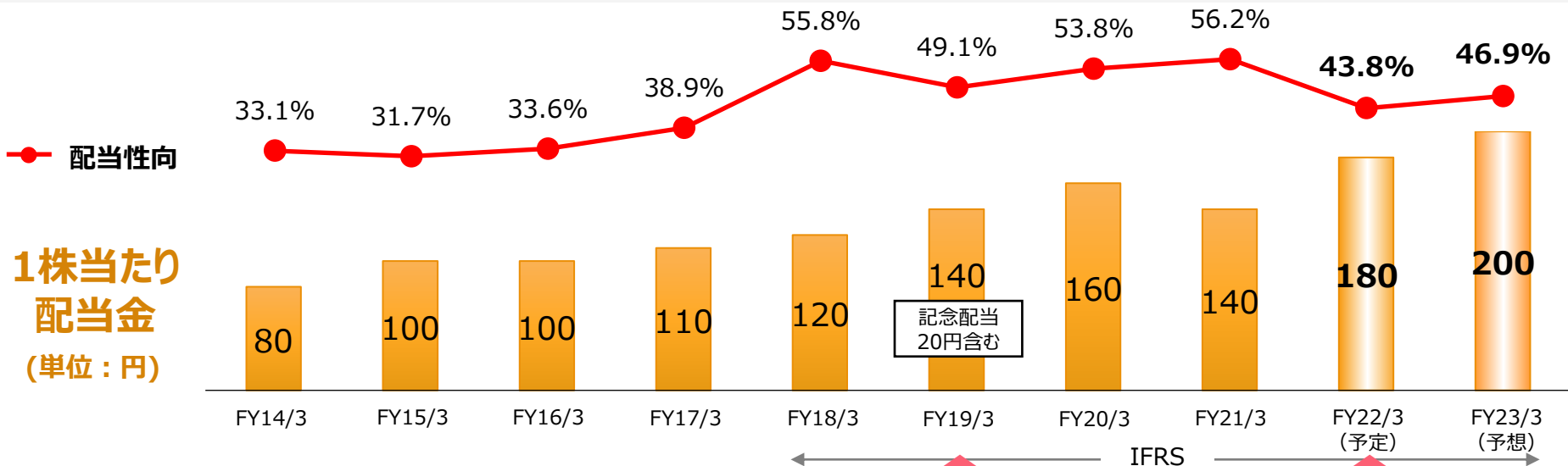
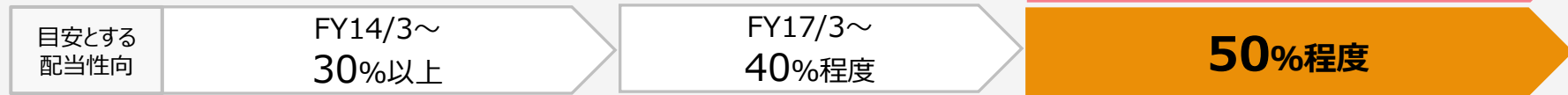
FY23下期より外販開始

株主還元

▶▶ **業績向上を通じた株主還元のさらなる向上を図る**

株主還元方針

- ▶ 配当性向50%程度を目安とする配当金
- ▶ 株主還元策として自己株式の取得を適宜実施



自己株式の取得
約400億円
 (総還元性向：87.8%)

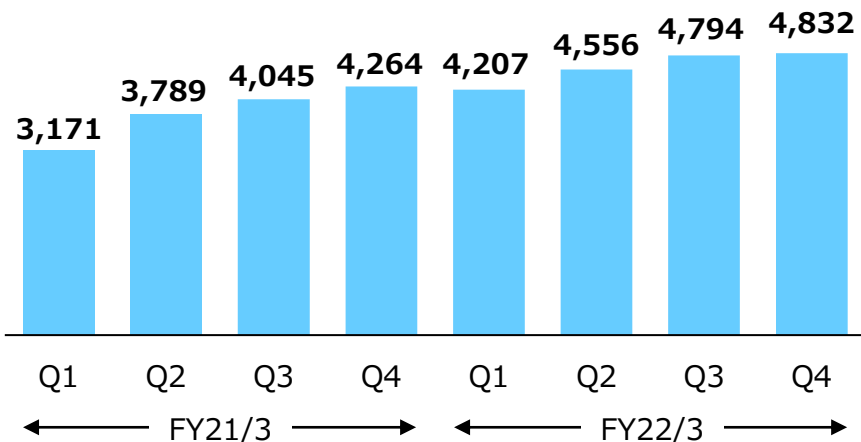
自己株式の取得
約241億円
 (総還元性向：60.0%)

ご参考：四半期業績推移

四半期業績推移

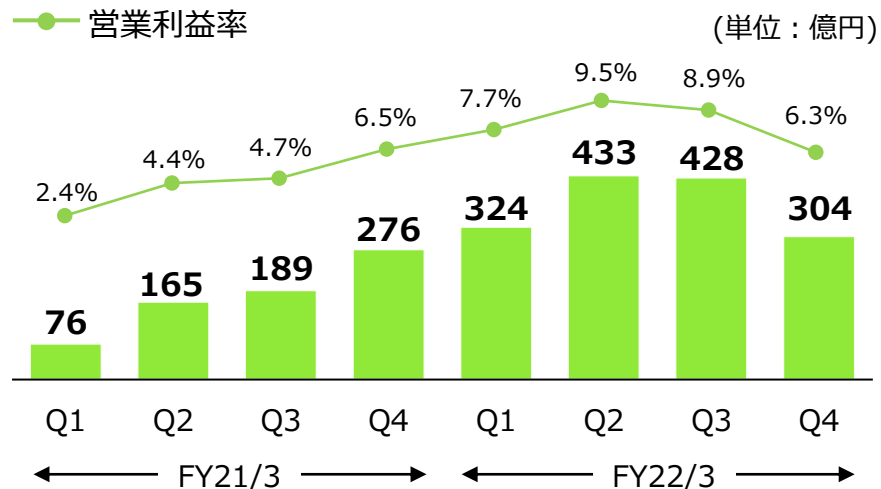
売上高

(単位：億円)



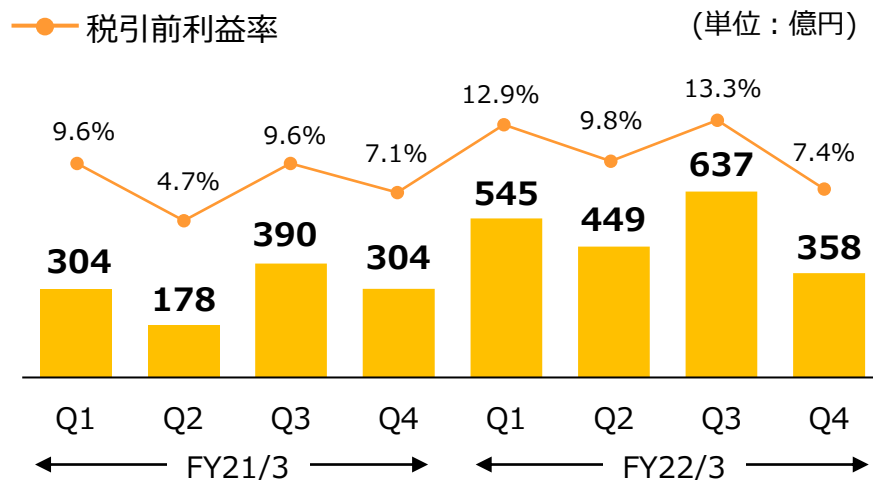
営業利益

(単位：億円)



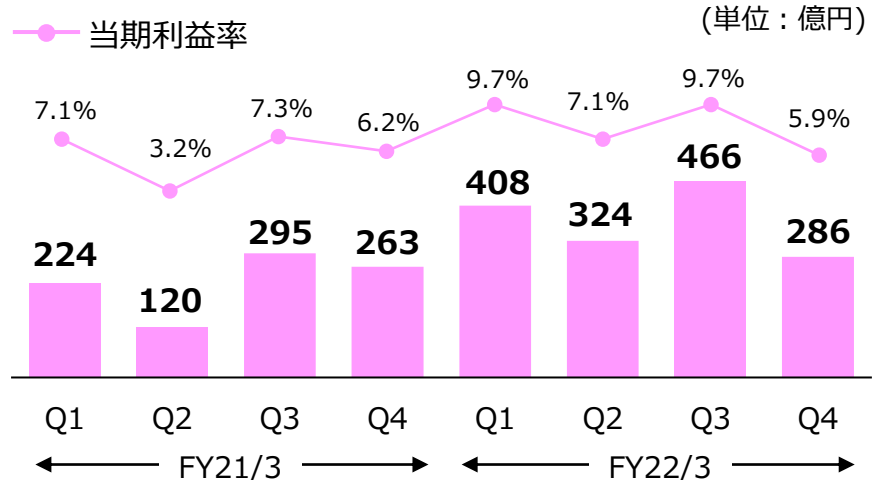
税引前利益

(単位：億円)



当期利益

(単位：億円)

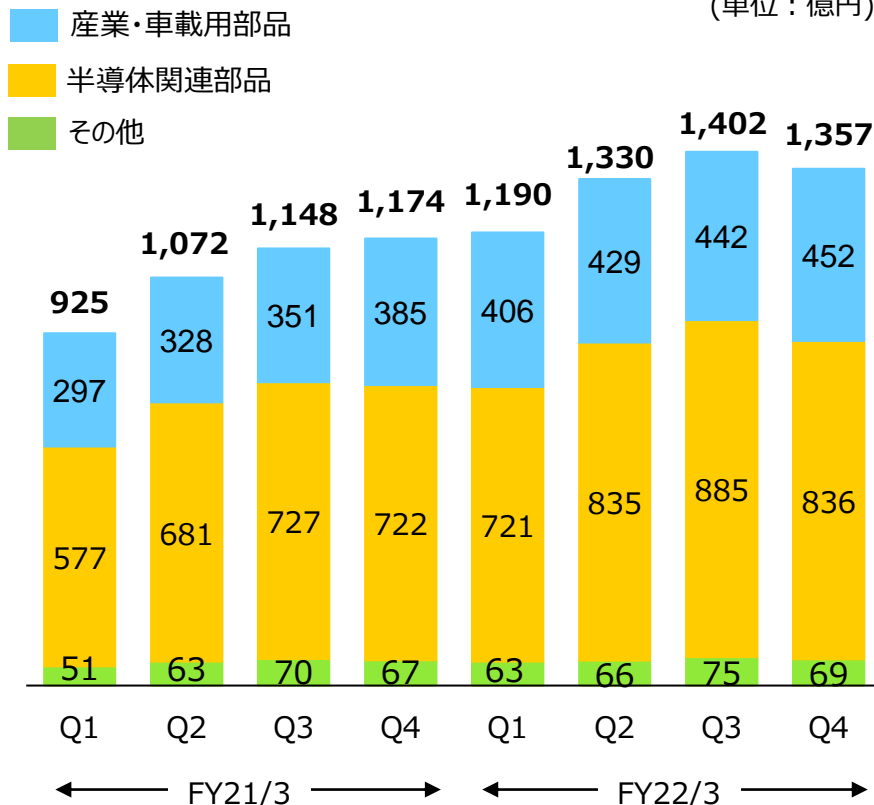


事業セグメント別 四半期業績推移

(1) コアコンポーネント

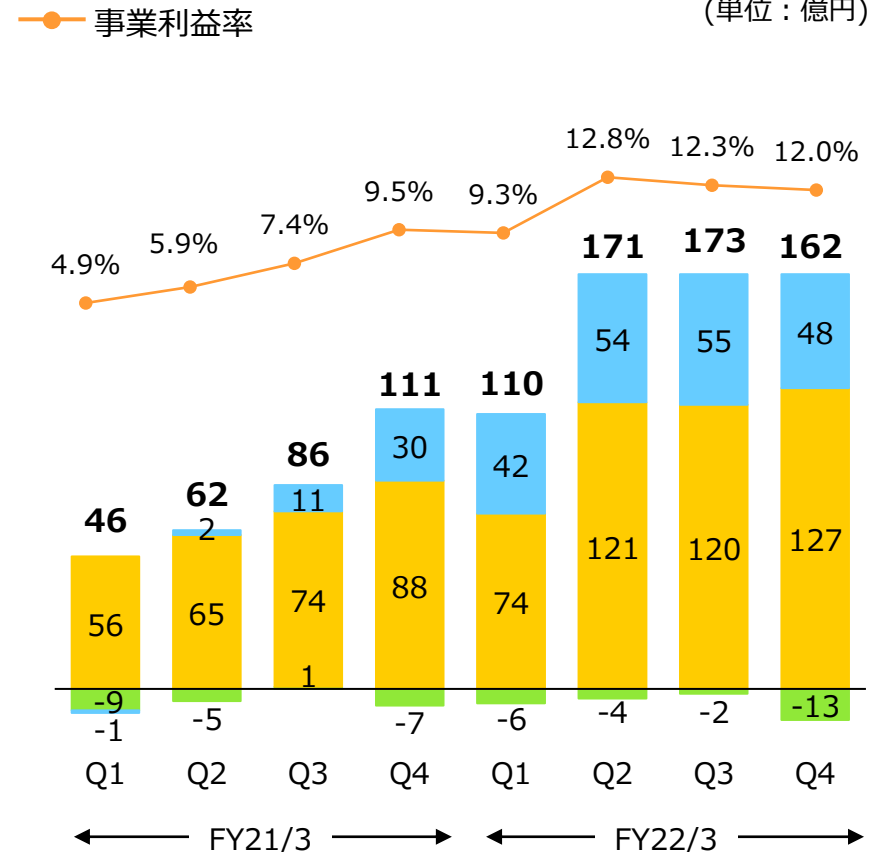
売上高

(単位：億円)



事業利益

(単位：億円)



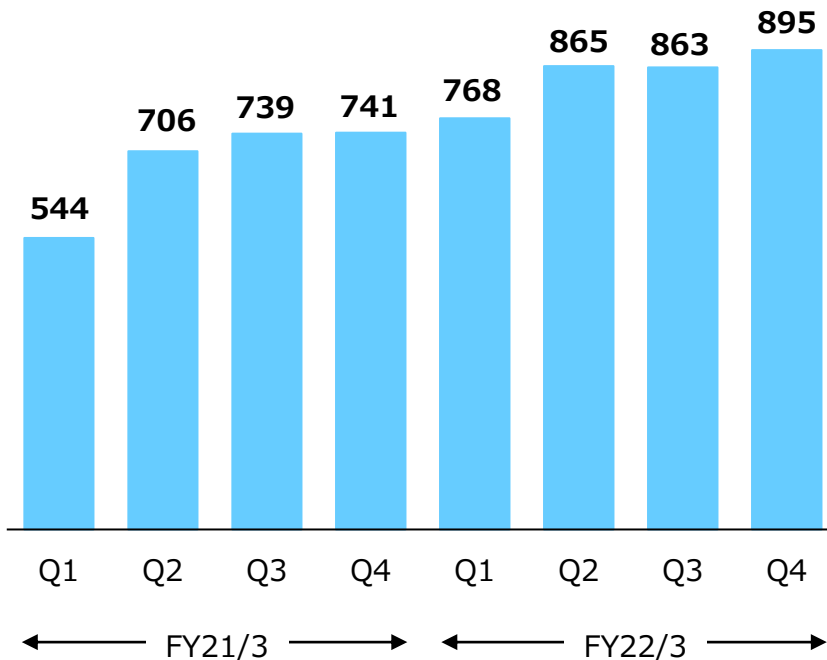
注：事業利益は各セグメントの税引前利益
事業利益率は百万円単位で算出

事業セグメント別 四半期業績推移

(2) 電子部品

売上高

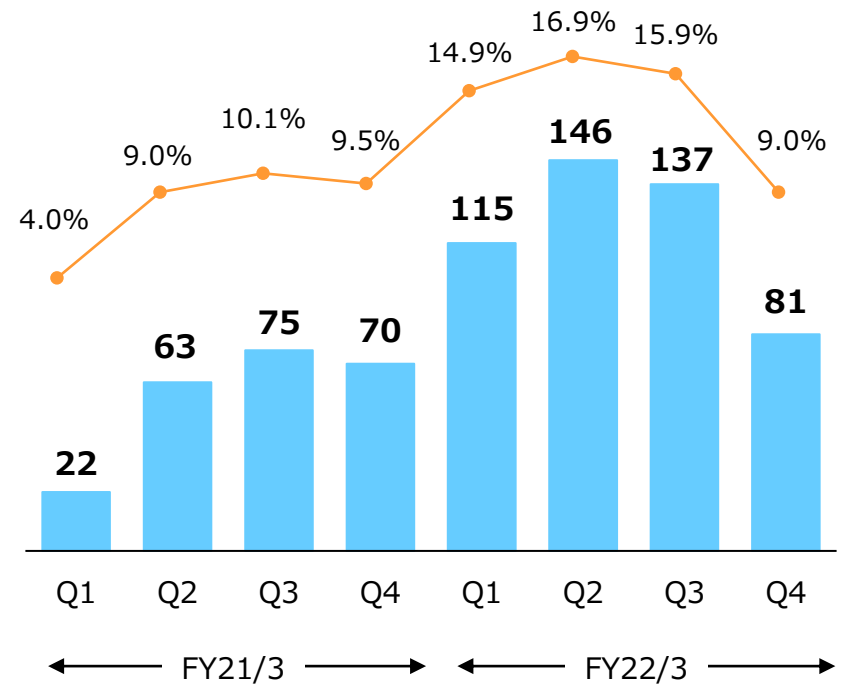
(単位：億円)



事業利益

(単位：億円)

● 事業利益率

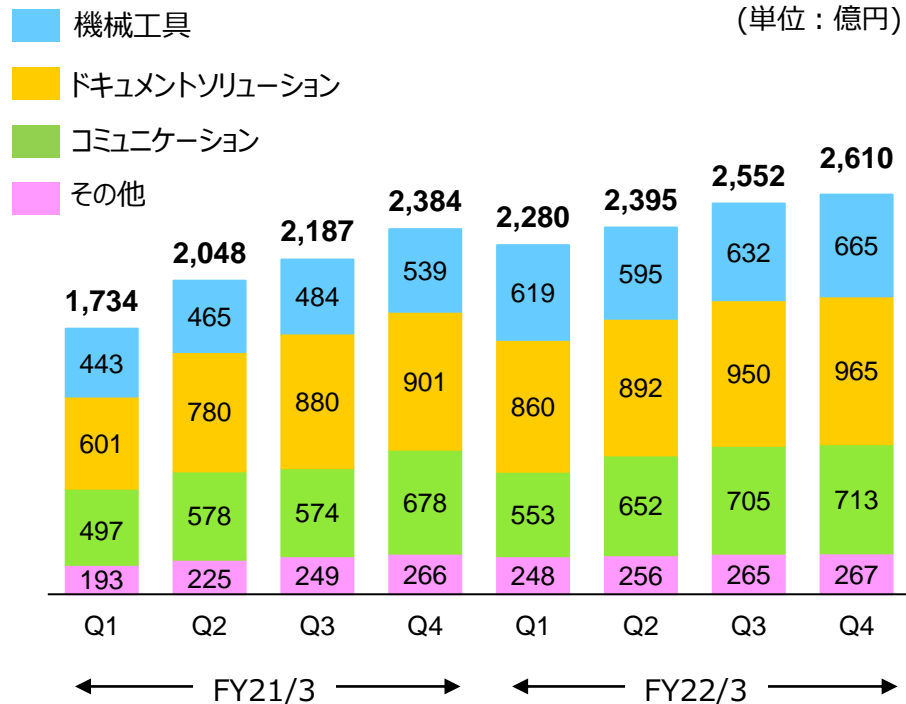


注：事業利益は各セグメントの税引前利益
事業利益率は百万円単位で算出

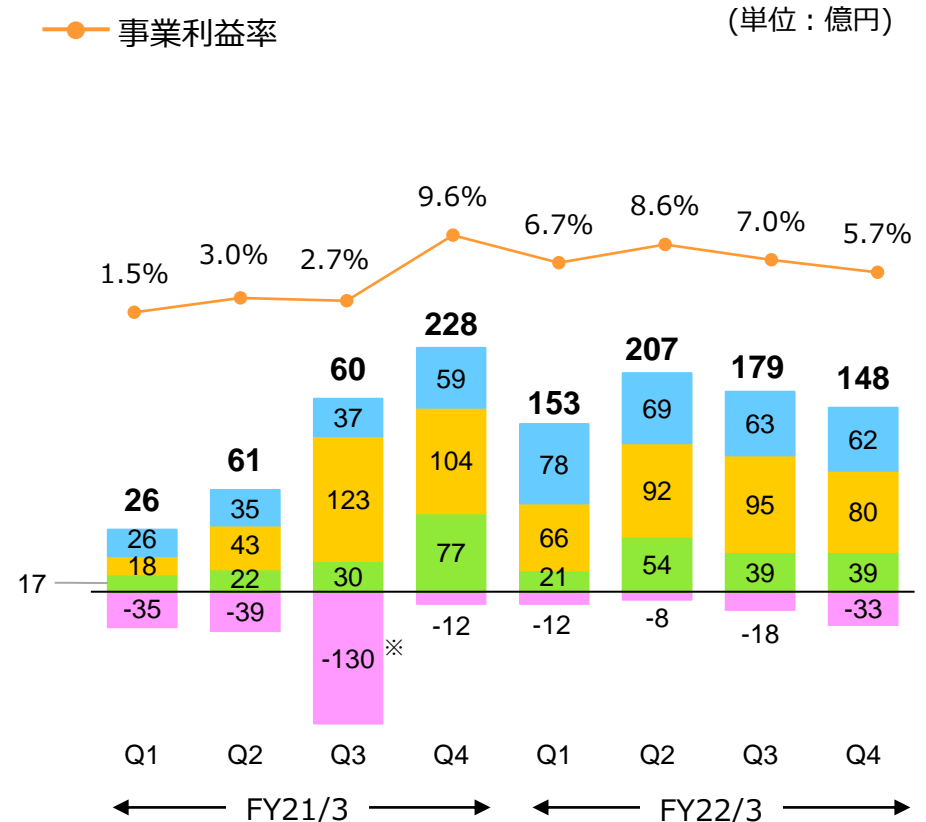
事業セグメント別 四半期業績推移

(3) ソリューション

売上高



事業利益



注：事業利益は各セグメントの税引前利益
事業利益率は百万円単位で算出

※ スマートエナジー事業において、減損損失115億円を計上

将来の見通しに関する記述等について

この資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点で入手できる情報に鑑みて、当社が予想を行い、所信を表明したものであり、既知及び未知のリスク、不確実な要因及びその他の要因を含んでいます。これらのリスク、不確実な要因及びその他の要因は下記を含みますが、これらに限られるものではありません。

- (1) 日本及び世界経済の一般的な状況
- (2) 当社が事業や輸出を行う国における経済、政治、法律面の諸条件の想定外の変化
- (3) 為替レートの変動が当社の事業実績に及ぼす影響
- (4) 当社製品が直面する激しい競争による圧力
- (5) 当社の生産活動に用いられる原材料のサプライヤーの供給能力及びその価格の変動
- (6) 外部委託先や社内工程における製造の遅延又は不良の発生
- (7) 今後の取り組み又は現在進行中の研究開発が期待される成果を生まない事態
- (8) 買収した会社又は取得した資産から成果や事業機会が得られない事態
- (9) 優れた人材の確保が困難となる事態
- (10) サイバー攻撃等により当社の情報セキュリティが被害を受ける事態及びその復旧や維持に多額の費用が必要となるリスク
- (11) 当社の企業秘密及び特許を含む知的財産権の保護が不十分である事態
- (12) 当社製品の製造及び販売を続ける上で必要なライセンスにかかる費用
- (13) 既存の法規制又は新たな法規制への意図しない抵触
- (14) 環境規制の強化による環境に関わる賠償責任及び遵守義務の負担
- (15) 世界的な気候変動に関連する諸課題への対応遅れによるコスト増や企業ブランドの低下を招く事態
- (16) 疾病・感染症の発生・拡大、テロ行為、国際紛争やその他類似の事態が当社の市場及びサプライチェーンに及ぼす影響
- (17) 地震その他の自然災害によって当社の本社や主要な事業関連施設並びに当社のサプライヤーや顧客が被害を受ける事態
- (18) 売掛債権の信用リスク
- (19) 当社が保有する金融商品の価値の変動
- (20) 当社の有形固定資産、のれん並びに無形資産の減損処理
- (21) 繰延税金資産及び法人税等の不確実性
- (22) 会計基準の変更

上記のリスク、不確実な要因及びその他の要因により、当社の実際の業績、事業活動、展開又は財政状態は、将来の見通しに明示又は黙示される将来の業績、事業活動、展開又は財政状態と大きく異なる場合があります。当社は、この資料に含まれている将来の見通しについて、その内容を更新し公表する責任を負いません。

THE NEW VALUE FRONTIER



京セラ株式会社